

平成19年度事業報告

株式会社エフエム新津の平成19年4月1日～平成20年3月31日迄の事業報告を下記の通り報告する。

1) 営業の概況

営業の状況及び成果

当期におけるわが国経済は、住宅投資の落ち込みやエネルギー・原材料価格高の影響などから減速し、企業の業況判断は大幅低下を示しました。中小企業は更に深刻で、企業心理も相まって収益や設備投資などの事業計画から、企業の慎重姿勢が読み取れる状況にありました。

放送業界においては、企業の広告に対する構造的な変化などにより市況の不透明感は拭えず、依然として厳しい状況で推移しました。

こうした状況のなかで、弊社は営業力並びに番組充実の強化に努めるとともに、イベントへの積極参加等による利益拡大に努力してまいりましたが、実績としては売上原価費用の増加により、損失計上を余儀なくされる状況となりました。

政令指定都市が誕生して1年が経過。8つの行政区ではそれぞれが特色ある取組を開始し始めました。秋葉区でも「コミュニティ放送を活用した地域防災体制の充実を図る」

目的で設置された「緊急告知ラジオ設置事業」が、いよいよ開始されました。

災害が起きたときに、地域住民の安全確保にコミュニティ放送が、いかに活用され役立てるか。通常の放送が生活の中に定着している事が必須であります。

弊社の開局時からの基本理念である「地域密着に根差し・地域防災に役立て・放送文化の創造を目指す」という目的を果たす為、今一度原点に立ち返り、限られた範囲の住民へ情報を提供する為に設置されたコミュニティ放送の役割りを見詰め直したいと決意を新たにしております。

開局十数年を経過した所で、今迄を振り返り、また今後の将来を見据えて「中長期経営計画」を策定。今後の指針としてまいります。

今後の見通しにつきましては、引き続き厳しい経済環境が予想されますが、弊社と致しましては更なる経営改善を進め累損の早期解消に向け、また「ラジオもライフライン」「聞かれるメディア」「PR効果のあるメディア」と認識して頂けるような放送局を目指し鋭意努力する所存であります。

平成19年度 収支決算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

※消費税込み表示
単位:円

科 目	H19年決算額
事 業 収 入	59,893,009
事 業 支 出	62,663,674
営 業 費 用	62,644,774
①番組費	11,606,569
②技術費	4,841,572
③販売費	6,626,196
④人件費	30,038,849
⑤管理費	9,531,588
営 業 外 費 用	18,900
法 人 税	180,000
当 期 損 益	▲ 2,950,665
累 計 損 益	▲ 19,255,366